

一般教育訓練明示書(様式例)

講座の名称	言語聴覚学科 昼間部				
実施方法	① 通学 (<u>昼間</u>) ・ 夜間 ・ 土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	2820236	—	2420012	—	7
講座の創設年月日 年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間 令和9年9月30日まで	過去一 年の講 座実績	入講者数(累積)(17人)	修了者数 (8人)	
訓練期間	36ヶ月		総訓練時間	2935時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル			言語聴覚士		
②①に係る資格・試験等の実施機関名称			厚生労働省		
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等			言語聴覚士法に定められた要件を満たしていること。		
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況			医療関係業界、福祉関係業界		
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)			時間	使用教材名	
基礎分野(人文科学、社会科学、自然科学、外国語、保健体育 5科目)			330時間		
専門基礎分野(解剖学、生理学、病理学等27科目)			825時間		
専門分野(言語聴覚障害学概論(ACCを含む)等35科目)			1540時間		
選択必修分野(情報処理、言語聴覚障害特論Ⅰ、言語聴覚障害特論Ⅱ等6科目)			240時間		
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等			特になし		
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準			高等学校を卒業(見込含む)した者またはそれと同等以上の資格がある者。		
③その他			特になし		

一般教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度内の受講修了者数	8	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	8	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	7	人	合格率(③/②)	87.5	%
④ 上記②・③の回答者数	8	人			

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	0	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	1	人	②A: 就業者計	1人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	2	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	1	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	1人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	2人
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	1	人		
	4 趣味・教養に役立つ	1	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	2	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	3人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	1	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	3	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	3人
	2 おおむね満足	0	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	臨床実習、卒業試験、実技口頭試験
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

本校に3年以上在学し、所定の授業科目の単位を修得した者を修了とする。修了を認定する時期は、当該年度3月31日付とする。

一般教育訓練明示書（様式例）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法		
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	個人面談を実施し、理解度の確認、指導を実施している。また、成績不良者や長期欠席者に対しても個人面談を実施し必要に応じて補習も実施している。年1回の三者面談も希望者に実施している。	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	国家試験対策授業、模擬試験を実施している。卒業後も国家試験対策講座を実施してバックアップを行っている。年1回就職説明会を開催し、担任・専任教員による個別フォローで就職活動をバックアップしている。	
8. その他の事項		
指定教育訓練実施者名及び代表者名	社会医療法人社団 順心会	(代表者名: 理事長 栗原 英治)
住所及び連絡先	〒656-0122 兵庫県加古川市別府町別府865番1	TEL 079-430-0270
施設名称及び施設長名	関西総合リハビリテーション専門学校	(施設長: 校長 沖田 任弘)
住所及び連絡先	〒656-2132 兵庫県淡路市志筑新島7番4	TEL 0799-60-3600
給付制度担当部署・者	関西総合リハビリテーション専門学校 学生課	(担当者: 山中 早苗)
連絡先	TEL 0799-60-3600	
一般教育訓練経費 支払い方法	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ② + ③ + ④) 1,350,000 円	
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	500,000 円
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	850,000 円
③ 両方可能	(うち、必須教材費)	円)
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 1,880,000円	
	① 副読本代(税込額)	205,000 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	220,000 円
	③ 施設維持費(税込額)	1,200,000 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税)	255,000 円
	3. 総額 (1+2) (税込額) 3,230,000 円	

〔特記事項〕

※教育訓練経費(上記1.)について
 修学に要する費用について、割引制度「授業料等免除制度」があるため 実際に支払った額が対象(入学金及び最大1年分の受講料の20%) 上限 100,000円
 ②受講料については、対象経費として最大1年分の金額を記載しているが修学に要する費用としては3年分必要(授業料等免除制度あり)
 ※教育訓練経費(上記2.)について
 ②施設維持費は授業料等免除制度あり